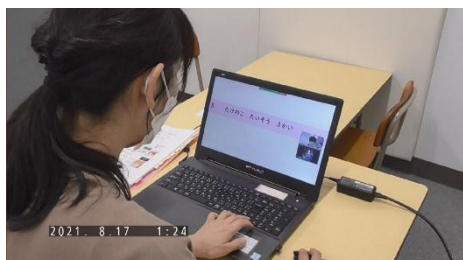
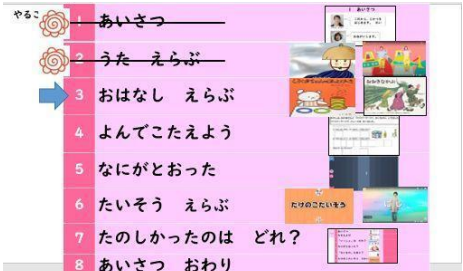


1 台端末の活用による実践事例

学校名	岡山大学教育学部附属特別支援学校	実践者名	川上 佳奈
実践場面 (教科)	自立活動 時間における指導		
単元・題材名	情報を正しく受け止めて、自分の気持ちを伝えよう		
学習目標・ねらい	教師の提示する視覚情報や簡単な言葉でのやりとりをもとに、教師の伝えている内容を正しく理解し、選択肢からやりたい活動を選んだり、気持ちを表す絵カードを選んだりすることができる。		
対象の児童生徒の実態	高等部1年 視覚情報や言葉の受け止め、日にちや時間の理解の難しさがあることから、先のことや苦手なことへの不安感が増していき、登校のしにくさや、家庭での生活が落ち着きにくい様子が見られる。また、保護者がそれを「しない」と伝えても、「するのではないか」という不安から混乱する様子が頻繁に見られている。		
活用の概要（使用アプリ名を含む）			
【実践で使う機器・アプリ等】 機器：ノートパソコン アプリ：Zoom			
			
①あいさつ			
・氏名を読む等簡単な言葉のやり取りをねらう。			
・予定の確認をする。			
②歌を選ぶ			
・「やりたい活動を選ぶ」「選んだ活動をする」ことの意味理解をねらう。同時に「選ばなかった方はしない」ことも視覚的のシンボルを提示することで、選ばなかった活動は「しない」ことを経験から学ぶ。			
③お話を選ぶ			
・選んだ活動を実行する。ねらいは②と同じ。			
④読んで答えよう			
・日常生活の中の情報（だれと、どこで、何をする）情報を読み取ることを意図し、スケジュール提示の内容に沿って文字を読んだり、イラスト（アニメーション）を見て、教師からの質問を聞いて応答したりする。			
⑤何が通った			
・キャラクターが画面に一瞬出てくるので、教師の声掛けのタイミングに合わせて注視して名前を当てる。			
⑥体操を選ぶ → 選んだ活動を実行する。			
・②、③と同様			
⑦振り返る			
・各活動について振り返り、それぞれの活動が「好き」「嫌い」かを絵カードに選んで貼ることで気持ちを表出する。			
⑧終わりのあいさつ			
活用のポイント・改善策等			
・事前に保護者に「Zoom」の開始時間、ID、パスワードを伝えておく。			
・事前に画面共有時の映り方を確認しておく。			